

Festikap Sprint シリーズ第3戦

スーパーSSクラス (参加 12 台)

Festika Circuit

フレーム : TONY RACER EVX(07)

エンジン : YAMAHA KT100SD

タイヤ : プリヂストン SL07 SL94(レイン)

エンジニア: 加藤 真 (レーシングサービス エッフェガーラ)

メカニック: 立木 保 (チーム エッフェガーラ)



◆ 今大会に向けて

今回は打倒斉藤選手に向けて、体力アップにも心がけ追い込んだ練習をしてきました。練習目標であったあとコンマ1を克服してのレースウィーク突入！

前日はマシンも体調も絶好調・・・ライバル達をコンマ1～2引き離しての前日練習終了かと思ったその時、突然原因不明のエンジントラブル発生！

その後監督にチェックしてもらい回復したものの微妙な違和感と不安を残しての前日練習終了・・・

◆ レースレポート

公式練習：雨上がり路面でのスリックでのコースイン。前日のエンジントラブルの余韻を残し軽く高速慣らしからの走行。新型ノイズボックスのキャブセットが合わないのか、いまいちの4番手タイムで終了。公式番長の鴨シーは今日も好調の様子。公式番長の汚名返上の予感・・・

タイムトライアル：路面はウェット状態、フレッシュタイヤでのタイトラ突入。1周目からグリップ感があり3周目にトップタイムが出るがその後タイムが伸びず、最終ラップで逆転され2位で終了

予選ヒート：路面は軽いウェット状態なので、エアを下げギアを上げずに望む。ところがスタートを待たされている間にフルウェット状態、結果的にはセットをはずした形となり、読めない天候に悩まされる。セカンドでのスタートは無難に抜けトップに張付く T・T から序盤のペースは良いので早めに前に出て逃げ切りたいところ。一度前に出るが強引に差換えられ調子が狂い、終盤に仕掛ける作戦に切替える。

ところが中盤からローギアの為か微妙に立ち上りで離される状態になる。終盤になり5コーナーで仕掛ける為4の立ち上がりで絶対に抜かねばという気持ちからか、自分でも無意識にアクセルを早く開けすぎパワースライドで痛恨のスピン・・・9位で予選を終る。

決勝ヒート：ジャンプアップを狙ってのスターとしたつもりが前車が出遅れアウト側に行かれ、前車はちょっと危険なドライバーに代わる。何故か前を見すぎてジャンプアップに失敗。キャブセットのミスなのか立ち上がりももたつきだしパッシングにも時間がかかってしまう。集団を抜けた時には上位と離される展開となり、4位との差を詰めるのが精一杯の単独走行となる。後は3位単独走行の鴨シーの走りを見ながら、情けない5位でチェッカー。フェスでは3年ぶりに表彰台を逃す結果となってしまった・・・

3位は久々表彰台ゲットの鴨シー！これで公式番長の汚名返上なるか。

◆ レース結果

TT 2位 (38.404)

予選 9位 (38.573)

決勝 5位 (33.034)

◆ シリーズランキング

5位 (23ポイント)

第2戦終了時点

◆ レースを終えて

今回は前日絶好調にもかかわらず何かが狂った一日でした。

敗因は自己分析で数多くありますが、あえて公表しません。期待に答えられなかった自分に対して憤りさえ感じる内容でした。

今年は事情もあり年頭からレース活動は未定ですが、レース感を衰えさせない為の努力はして行きたいと思います。

土、日、2日間監督に来てくれた加藤さん、メカをしてくれた立木さんをはじめ応援に来てくれた方々に感謝の意を表して、レースレポートと致します。